

2018年度  
日 本 史  
(問 題)

〈H30123316〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

|         |                                                                                        |                                                                                        |                                                                                        |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| マークする時  |  良い |  悪い |  悪い |
| マークを消す時 |  良い |  悪い |  悪い |

5. 記述解答用紙記入上の注意
  - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
  - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
  - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

|         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 数 字 見 本 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

|            |   |   |   |   |   |
|------------|---|---|---|---|---|
|            | 万 | 千 | 百 | 十 | 一 |
| (例) 3825番⇒ |   | 3 | 8 | 2 | 5 |

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

- 1 次の文章を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

ここでは、古代の対外関係について考えてみよう。

日本（倭国）は、古くから中国や朝鮮半島と戦争を含む交通を保ってきた。古くは日本列島のような中国の歴史書に記されている。『漢書』地理志には小国が分立し、楽浪郡に定期的に使者を送っていたことがみえる。一方、『後漢書』東夷伝には、倭の奴国王の使者が洛陽に派遣され、光武帝から印綬を授けられたこと、倭国王帥升等が生口を安帝に献上したことが記述されている。この印は、現在の□□県の志賀島から発見された金印と推測され、印文には「漢□ハ奴国王」と刻まれている。

後漢が滅び、魏・呉・蜀が並び立つ三国時代になると、邪馬台国の女王卑弥呼は約□□カ国ほどの連合を組織して、魏の皇帝に使者を送った。卑弥呼の死後国内が乱れたが、菟（台）与が立つと、ようやくおさまったという。その後、倭の女王が□□の都である洛陽に使者を送ったのを最後に、しばらくの間、倭国の記載は中国の史書から消えてしまう。

再び倭国が資料にみえるようになったのは4世紀末のことである。中国吉林省集安市にある好太王碑には、倭国が朝鮮半島に渡って百済や新羅を従属させたため、高句麗の好太王が倭を打ち負かしたという内容が刻まれている。明治時代に日本陸軍の軍人が日本の朝鮮半島の支配を正当化するために、碑文の文字を改ざんしたとの説もあったが、近年の精緻な拓本についての研究の結果、この説はほぼ否定された。

5世紀になると、倭五王が中国に使者を遣わし朝貢したことが『宋書』倭国伝にみえる。倭王を誰に比定するのかという点については異説もあるが、最後の王は、□□天皇と見ることができる。彼に関する文字資料としては、埼玉県□□市にある稲荷山古墳から出土した鉄剣銘と、熊本県和水町の江田船山古墳から出土した鉄刀銘が著名である。

その後、磐井の乱や武蔵国造の乱を経て、ヤマト王権の勢力はさらに強大化し、日本列島を支配するようになるのである。

問A 下線イの著者は誰か。

1. 范曄 2. 司馬遷 3. 班固 4. 陳寿 5. 司馬炎

問B 空欄□に当てはまる県名はどれか。

1. 熊本 2. 長崎 3. 宮崎 4. 福岡 5. 大分

問C 空欄ハに当てはまる漢字はどれか。

1. 倭 2. 委 3. 新 4. 魏 5. 周

問D 下線二について述べた文として、誤っているものはどれか。

1. 卑弥呼の死後、男王が立った。  
2. 卑弥呼は「鬼道」に通じ、呪術的な権威をもとに政治を行っていた。  
3. 卑弥呼は、晩年に狗奴国と戦った。  
4. 2016年、奈良県の纏向遺跡から「親魏倭王」の印が発見され、所在地が確定した。  
5. 大人・下戸などの身分差があり、刑罰制度も有していた。

問E 空欄ホに当てはまる数字はどれか。

1. 500 2. 10 3. 30 4. 50 5. 100

問F 空欄部へに入る国名はどれか。

1. 晋 2. 魏 3. 宋 4. 呉 5. 蜀

問G 下線トについて述べた文として、誤っているものはどれか。

1. 最後の倭王は安東大將軍倭王に任命された  
2. 倭王は、中国の北朝に使者を遣わした。  
3. 最後の倭王は、みずから戦いに赴いたとする。  
4. 倭五王とは、讃・珍・済・興・武である。  
5. 倭国は中国王朝に冊封されていた。

問H 空欄チに当てはまる人名はどれか。

1. 応神    2. 雄略    3. 履中    4. 仁徳    5. 反正

問I 空欄リに当てはまる地名は何か。

1. 行田    2. 大宮    3. 熊谷    4. さいたま    5. 桶川

問J 下線ヌの人物と結んだとされる国はどれか。

1. 高句麗    2. 百済    3. 琉球    4. 任那    5. 新羅

2

次の文章を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

1086年、白河天皇が当時まだ8歳であった善仁親王に譲位したことに始まる院政は、その後の歴史に大きな位置を占める政治形態となった。院政の目的のひとつに、自らが望む子孫の系統に皇位を受け継がせ、摂関家から皇位継承の主導権を取り戻すことがあったと考えられるが、その権力基盤を固めるために、院は摂関政治のもとで冷遇されていた国司層や、自らの近親者を院近臣として組織し、院庁を拠点に専制的な政治を展開した。また、院政のもうひとつの大きな特徴は、台頭し始めた武士を積極的に登用したことで、中でも平氏は、平正盛が白河上皇によって創設された二の一員に取り立てられたことから勢力を伸ばし、その子の忠盛、孫の清盛は鳥羽上皇・後白河上皇の院政を強力に支えた。

院政の歴史の中で、最も大きな転機となったのは、その武士による武家政権の成立であろう。後白河上皇は1183年、源頼朝に東国の行政権を認め、朝廷の権限の一部が頼朝に委ねられることになった。しかし、鎌倉幕府の成立以後も、その支配権が及んだのは東国の武士社会が中心で、畿内・西国ではなお院政を継続する朝廷の支配権が強く残存していた。そのような幕府と朝廷の力関係が逆転したのが、1221年に起こった承久の乱である。後鳥羽上皇は、自ら組織したチや、畿内・西国に基盤をもち幕府の御家人に編成されていなかった武士勢力を頼んで兵を挙げたが、結果的に乱は幕府方の圧勝に終わり、乱の戦後処理により、幕府の支配権は一気に西国に広がる結果となった。その後も朝廷では後嵯峨上皇による院政が継続したが、上皇が自らの後継者を定めずに亡くなったことから、その後の皇統が分裂し、皇位継承が幕府の助言を受けつつようやくなされるに及んで、院政の歴史的な役割はその実質を失っていった。後醍醐天皇による親政が始まるのは、その直後のことであった。

問A 下線部イについて、この親王は次のうちの誰にあたるか。

1. 後三条天皇    2. 堀河天皇    3. 近衛天皇    4. 崇徳天皇    5. 二条天皇

問B 下線部ロについて、この時期の国司や国衙について述べた説明として、誤っているものはどれか。

1. 任国に赴任する国司の最上席者は受領と呼ばれた。  
2. 国衙には地元の開発領主らが在庁官人として登用された。  
3. 国司は有力な郡司の中から選ばれた。  
4. 任国に赴任しても、すぐに帰京する遙任国司が次第に増加した。  
5. 国司が在国しない国衙は留守所と呼ばれた。

問C 下線部ハに関して、白河上皇の専制政治について記した藤原宗忠の日記は次のうちのどれか。

1. 『御堂閔白記』    2. 『愚管抄』    3. 『小右記』    4. 『中右記』    5. 『今鏡』

問D 下線部ホについて述べた文として、誤っているものはどれか。

1. 院庁下文を発して多くの荘園を認可した。  
2. 父は白河上皇である。  
3. 子の崇徳上皇との不和が保元の乱の一因となった。  
4. 娘の暲子に膨大な数の荘園を相続させた。  
5. 死の直前、後白河天皇を即位させた。

問E 下線部へについて、ここでの東国に含まれない国はどこか。

1. 越後 2. 近江 3. 伊賀 4. 美濃 5. 出羽

問F 下線部トを適用範囲として1232年に制定された法について述べた文として、誤っているものはどれか。

1. 頼朝以来の先例や道理を成文化したものである。  
2. この時制定された51ヶ条の他、必要に応じて個別の法令が追加されていった。  
3. この法の制定者は幕府に評定衆を置いて合議政治を推進した。  
4. この法によって、公家法や本所法の効力は否定された。  
5. この法は室町幕府法や戦国大名の分国法にも影響を与えた。

問G 下線部にに関する説明として、誤っているものはどれか。

1. 後鳥羽・土御門・順徳の三上皇を配流に処した。  
2. 仲恭天皇を廃した。  
3. 後鳥羽上皇の甥に当たる後堀河天皇に院政を行わせた。  
4. 京都に朝廷の監視などを行う六波羅探題を設置した。  
5. 上皇方貴族の所領を没収し、東国御家人を地頭に補任した。

問H 下線部又について述べた文として、誤っているものはどれか。

1. 皇統の分裂は、後嵯峨上皇の二人の子の間で起こった。  
2. 後深草上皇の皇統は持明院統と呼ばれた。  
3. 龜山天皇は兄の後深草天皇から譲位されて即位した。  
4. 持明院統は長講堂領、大覚寺統は八条院領という巨大な荘園群を相続した。  
5. 大覚寺統は後の北朝へと継承された。

問I 下線部ルが行った親政により設置・再興された機関ではないものはどれか。

1. 記録所 2. 雑訴決断所 3. 陸奥将軍府 4. 鎌倉府 5. 武者所

問J 空欄ニと空欄チに入る語の組み合わせとして、正しいものはどれか。

1. ニー北面の武士 チー西面の武士 2. ニー西面の武士 チー滝口の武士  
3. ニー滝口の武士 チー北面の武士 4. ニー西面の武士 チー北面の武士  
5. ニー北面の武士 チー滝口の武士

3

次の史料とそれに関連する文を読み、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

（史料1）

己丑（1709年）の春、正月十日に、大喪の御事聞えて、明日は人々皆西城（江戸城西の丸）に参るべき由を告げ来たり。（中略）この日（正月20日）、前代の御時に制せられし生類あはれみといふ事をとどめられし由を承りぬ。二十二日に至りて、御葬送の儀あり。これは十七日よりこのかた二十日に至りて、雨ふりつづきし故に、この日におよびしとぞ聞えたりける。ある人の申せしは、

御葬送の儀けふ迄のびし事、真実は雨ふりつづきし故にはあらず。その故ありし事也。いづれのころにかありけむ、儲副（将軍の世継ぎ）の参らせ給ひしに、ハ、右京大夫輝貞、伊賀守忠榮、豊前守直重等の朝臣をはじめて、近習の人々をめされて、「我この年ごろ、生類いたはりし事ども、たとひすぢなき事にさぶらふとも、この事に限りては、百歳の後も、我世にありし時のごとくに御沙汰あらむこそ孝行におはすべけれ。ここに侍ふものどもよく承るべし」と仰せられたり。されど、この年ごろ、この事によりて罪かうぶれるもの、何十万人といふ数をしらず。当時も御沙汰いまだ決せずして、獄中にて死したるものの屍を塩に漬けしも九人まであり。いまだ死せざるものまたその数多し。この禁除かれずしては、天下の憂苦やむ事あるべからず。されど、さほどまでに仰せ置かれし事を、御代に至りて、その禁除かれん事もしかるべからず。ただいかにもして、御遺誡のごとくならむ事を思し召されしかば、まづハをめして、思し召しよられし所を仰せ下されしに、この朝臣ももとよりこの事よしとおもふべきにもあらず、殊には前代の御覚こそ他にことなれ、この後の事はかりがたしと思ひしかば、「仰せ下される所、誠に御孝志の至りとこそ申すべけれ」といひしによりて、「さらば輝貞をはじめて、今までこの事を奉れ

るものどもに、この旨を伝ふべし」と仰せかうぶり、ハ 人々に仰せをつたふ。ことごとく皆異議におよぶ輩もあらず。ハ その由を申す。(中略) そののちこの禁除かる由をば仰せ下されたる也。いまだ御葬送の儀も行はれざるほどなれば、世には御遺誡の事とおもひたる也。(中略)

といふ。

(史料2)

同(1709年11月)九日、ロウマ人の来由を問ふべき由仰せかうぶる。この事の詳なる事は、別に録せしものあれば、ここにはしるさず。

(史料3)

乙未(1715年)の春正月の中ごろ、ホ を長崎奉行所に仰せ下さるべき御使の人々、ここをたつ。(中略) 我国の法を奉ぜむと申すものどもには、信牌を分ち給りて、この後來たり商いせむ事をゆるされ、我国の法をうけざらむものどもをば、生理(長崎に生活すること)をゆるさず、即時に放ち還され、同五月、西国・中国の大名にも、ホ の事につきて、仰せ下さるる旨ありけり。

史料1～3は、いずれも18世紀初めに将軍に仕えたヘの自伝『折たく柴の記』の一部である。

史料1では、前将軍が死去直前に残した、下線部①の政策についての遺言をめぐって起こったことが記されている。引用部分からもうかがえるように、この政策は単なる動物保護政策にとどまらず、人々に大きな影響を及ぼすものであった。また、この前将軍のもとで実施されたチの発令も、下線部①の政策と連動している。その意図は、人間を含む一切の生類を幕府の保護のもとに管理しようとするところにあった。その点で、これらの政策は前将軍の恣意的な政策というよりも、徳川幕府発足以来、幕府が目指してきた延長線上に位置するものであったと考えるべきである。

史料2・3では、ヘが関わった対外問題について記されている。ヘは、下線部②の著作などにより、江戸時代に邪教とされた宗教について誤解を解きつつも、それを禁止する宗教政策そのものは正当性があることを主張した。ホに該当する法令は、貿易制限を企図したものである。このほか、ヘは将軍の対外的呼称を「ヌ」から「ル」に改めることも提言した。

ヘの政治は全体として前代の政治を見直し、幕府政治の原則を再確認しようとする政策であったといえよう。

問A 下線部①とは誰の「大喪」か。

1. 徳川家宣    2. 徳川家綱    3. 徳川綱吉    4. 後水尾天皇    5. 後桜町天皇

問B 下線部①について、史料1から読み取れる説明はどれか。

1. これを発令した前将軍は亡くなる直前、遺言としてこの法令の停止を命じた。  
2. 次期将軍はこの法令の継続を望んだが、前将軍の側近の反対で法令停止となった。  
3. 前将軍の側近はこの法令の継続を望んだが、次期将軍の反対で法令停止となった。  
4. この法令停止が前将軍の遺言であったため、その形式を整えるために前将軍の葬送の日にちが遅れた。  
5. 次期将軍だけでなく、前将軍の側近もこの法令を停止するべきであると考えたので、この法令はすぐに停止された。

問C 空欄ハに該当する人物は誰か。

1. 柳沢吉保    2. 神尾春央    3. 保科正之    4. 間部詮房    5. 堀田正俊

問D 下線部②に該当するものはどれか。

1. 『西域物語』    2. 『西洋紀聞』    3. 『海国兵談』    4. 『新論』    5. 『読史余論』

問E 空欄ホに該当するものはどれか。

1. 己酉約条    2. 異国船打払令    3. 漢訳洋書輸入緩和    4. 海舶互市新例    5. 鎖国令

問F 空欄ヘに該当する人物は誰か。

1. 木下順庵    2. 室鳩巢    3. 田沼意次    4. 荻生徂徠    5. 新井白石

問G 下線部トについて、正しく説明しているものはどれか。

1. この政策に反発したかぶき者が、これ以降、横行した。
2. 動物保護のため、村にある鉄砲はすべて没収された。
3. この政策の結果、野犬が放置されたため、人々の生活が脅かされた。
4. この政策には、捨て子の養育義務も含まれていた。
5. この政策は、仏教の墮落を指摘する廃仏論に基づくものであった。

問H 空欄チに入る語はどれか。

1. 末期養子の禁緩和
2. 殉死の禁
3. 服忌令
4. 棄捐令
5. 慶安の触書

問I 下線部リが対象としている宗教以外に、江戸幕府によって禁止された宗教はどれか。

1. キリスト教
2. 陰陽道
3. 修験道
4. 日蓮宗不受不施派
5. 浄土真宗

問J 空欄ヌと空欄ルに該当する語の組み合わせとして、正しいものはどれか。

1. ヌー大君 ルー国王
2. ヌー国王 ルー大君
3. ヌー大君 ルー皇帝
4. ヌー皇帝 ルー国王
5. ヌー国王 ルー皇帝

4 次の史料Ⅰ・Ⅱを読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。

（史料Ⅰ）

・・・明治五年ニハ<sup>イ</sup>学制ガ頒布セラレ、六年ニハ<sup>ロ</sup>徴兵令ニ依ル国民皆兵ノ制ガ創始セラレ、二十二年ニハ終ニ<sup>ハ</sup>憲法ガ制定セラル、ニ至ツタノデアリマス、（中略）学制、兵制、自治制等ノ創始以来、五十年内外、憲政施行以来三十有六年デアリマシテ、国民ノ知見能力ニ対スル試練ハ既ニ相当ニ尽サレタリト認ムルノデアリマス（中略）今ヤ正ニ普通<sup>ホ</sup>選挙ノ制ヲ定メ、周ク国民ヲシテ国運進展ノ責任ニ膺<sup>メ</sup>ラシムベキノ秋デアルト信ズルノデアリマス（中略）近時ノ選挙ノ実情ヲ見マスルニ、各種ノ弊害続出シ、憲政前途ノ為深憂ニ堪ヘザルモノガアリマス、是等ノ弊害ヲ匡正シ、選挙ノ公正<sup>キョウセイ</sup>ヲ完ク致シマスルハ、憲政ノ基礎ヲ鞏固ニスル所以デアルト信ジマス

（加藤高明首相による普通選挙法提案理由 一九二五年一月）

（史料Ⅱ）

茲に<sup>ト</sup>政、憲、革三派の名を以て天下に声明す。

立憲政治の民意を基礎とすべきや言を俟たず。（中略）元老<sup>ケンナイ</sup>献替<sup>ケンタイ</sup>を誤リ、清浦子が内閣組織の大命を拝するや、衆議院、及、政党を無視し、一部の特権階級と結託して内閣を組織す。（中略）是れ<sup>ト</sup>政、憲、革三派旧来の感情を忘れて相提携し三党首以下<sup>シバシ</sup>屢び会盟を重ねて憲政の確立を決議せる所以なり。政友本党と称するもの何ものぞ。名を穩健著実に<sup>カ</sup>藉るも、政党本来の目的を忘れ、一部の特権階級の奴隷となりて特権内閣を擁護し、民衆に叛きて憲政の確立を妨げんとす。

（「総選挙に際しての護憲三派共同宣言」 一九二四年二月二五日）

献替<sup>ケンタイ</sup>：主君を補佐して善をすすめ、悪をしりぞけること。

問A 下線部イについて述べた文として、誤っているものを2つマークせよ。

1. 序文にあたる「被仰出書」で国民皆学、教育の機会均等、功利主義的な教育観が述べられた。
2. フランスの教育制度にならって、学区制が取り入れられた。
3. 全国を各府県によって区分し、これを大学区と定めた。
4. 小学校を尋常、高等の二段階に分けて各々修業年限を4年とし、前者を義務教育とした。
5. 1879年の教育令によって学区制が廃止された。

問B 下線部ロに関して述べた文として、誤っているものを2つマークせよ。

1. 前年の徴兵告諭にあった「血税」という文言が民間に誤解を与え、一部の地域で血税騒動が起こった。
2. 代人料270円を納めるものに対しては兵役期間が短縮された。
3. 戸主及びその嗣子、官吏、学生に対しては兵役が免除された。
4. 同年の軍人勅諭によって、軍人の政治に対する不関与が説かれた。
5. 1927年公布の兵役法によって、廃止された。

問C 下線部ハの起草にあたった人物として、正しいものを2つマークせよ。

1. 加藤弘之      2. 伊東已代治      3. 西周      4. 津田真道      5. 金子堅太郎

問D 下線部ニに関して述べた文として、誤っているものを2つマークせよ。

1. 戸籍法によって戸籍区が設けられ、各町村を管轄した。
2. 郡区町村編制法によって廃藩置県後設定された大区小区制が見直された。
3. 市制によって、府県知事の任命する市長と、市会が選任する参事会員によって行政が担われた。
4. 郡制によって、郡長ならびに郡参事会が行政機関であると位置づけられた。
5. 府県制によって、府県知事は民選であることが明記された。

問E 下線部ホについて述べた文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 黒田内閣の時、選挙人を男性25歳以上、直接国税15円以上とした。
2. 第二次山県内閣の時、選挙人を直接国税10円以上に引き下げ、それまでの大選挙区制を小選挙区制に改めた。
3. 第二次桂内閣の時、選挙人と被選挙人は同じ納税資格であることを廃止した。
4. 1911年、初めて普通選挙法が衆議院を通過したが、貴族院で否決された。
5. 原内閣の時、選挙人を直接国税3円以上に引き下げ、男性20歳以上に改めた。

問F 下線部ヘに関する大正デモクラシーをめぐる記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 美濃部達吉が『憲法講話』によって、天皇機関説、政党内閣論を唱えた。
2. 長谷川如是閑が『東京朝日新聞』誌上で民主主義的論陣を張った。
3. 市川房枝が婦人参政権獲得期成同盟会を通じて女性の選挙権獲得を主張した。
4. 吉野作造が『国民之友』で「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」により民本主義を唱えた。
5. 石橋湛山が東洋経済新報社を活動の場としながら、普選論、植民地放棄論を展開した。

問G 下線部トに関して正式な党名と、この時、それらの党を主導した政治家の組み合わせとして、正しいものを2つマークせよ。

1. 憲政会—原敬
2. 立憲政友会—高橋是清
3. 革新倶楽部—犬養毅
4. 立憲民政党—加藤高明
5. 立憲同志会—尾崎行雄

問H 下線部チに関して、元老とならなかった人物を2つマークせよ。

1. 山県有朋      2. 松方正義      3. 井上毅      4. 桂太郎      5. 陸奥宗光

問I 下線部リの中浦奎吾内閣について述べた文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 軍部大臣現役武官制のうち現役規定を削除し、予備役・後備役まで就任を可能とした。
2. 陸相・海相以外のすべての閣僚を貴族院から選出した。
3. “ビリケン内閣”（非立憲内閣）と揶揄された。
4. 政党から閣僚を入れなかったことから、超然内閣と批判を受け、憲政擁護運動の引き金となった。
5. 全国にわたる大規模な社会主義者の弾圧を行った。

問J 下線部又について述べた文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 床次竹二郎を中心とする立憲政友会の清浦内閣支持勢力によって形成された。
2. 桂太郎によって創立され、藩閥系の代議士と立憲国民党からの離脱者が参加した。
3. 犬養毅らを中心に結成された憲政本党を前身とした。
4. 初代の総裁は伊藤博文がつとめた。
5. 昭和に入って、憲政会と合同して新たに立憲民政党を結成した。

5 次の文章Ⅰ・Ⅱを読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。

Ⅰ 開港は鎖国下で自生的な工業化を進めていた日本経済に強い影響を与えたが、庶民の生活を直撃したのは、国際金銀比価への調整過程で生じた激しいインフレであった。物価の騰貴は暮らしへの圧迫を通じて社会不安を生み出し、貿易を否定する攘夷運動にもつながった。もっとも、開港により三貨を核とした幕府の通貨システムの枠組自体が変化したわけではなく、通貨制度そのものへの影響は限定されていた。

通貨制度が変容する契機は政権の交代であった。戊辰戦争に勝利をおさめた新政府は様々な制度改革を通じて政権基盤を固める一方、通貨については1871年に新貨条例を制定し、金本位制に基づく通貨制度を目指した。もっとも、実際には銀貨や不換紙幣が併存しており、価値の安定した本位金貨は流通から姿を消していった。大隈重信大蔵卿の下、1870年代後半にはインフレが激しくなったが、この頃にはすでに同じ1円でも銀貨と紙幣との間に価格差（銀紙格差）が生じており、本位制度は事実上崩れつつあった。

大隈が失脚し、代わって大蔵卿に就任した松方正義は、財政と通貨制度の建て直しを目指して緊縮財政を進めると同時に、中央銀行として日本銀行を設立し、1880年代半ばすぎに日銀券を中心として銀本位制を確立した。

日本がようやく銀本位制を確立した時期に、主要先進国は金本位制に移行していった。そのために不要となった銀が市場に出され、国際市場では長期にわたって銀安（金高）傾向が続いていた。こうした状況をうけて、政府は調査会を設置し、銀本位制を続けるか、先進国に追随して金本位制に移行するかについて議論を重ねた。調査会の論議は明確な決着を見なかったが、金準備問題が解決されたこともあって、1897年に金本位制を正式に採用するに至った。

問A 下線部Ⅱの開港が日本経済に与えた影響について述べた文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 安価な綿織物が輸入され、国内の綿織物業や綿作を圧迫した。
2. 織物や武器などの輸入が増加したため、貿易収支は開港当初から大幅な入超であった。
3. 最大の輸出品は生糸で、主にアメリカ市場で販売された。
4. 改税約書により従価税に改められ、一部の輸入品に対する関税率も引き下げられた。
5. 幕府は生糸、茶など5品を江戸の間屋に廻送させ、輸出貿易の統制に効果をあげた。

問B 下線部Ⅲについて述べた次の文章の a ～ c に該当する語句の組み合わせとして、正しいものを1つマークせよ。

日本は海外と比べて a の状態にあったため、大量の b が海外に流出した。そこでこれを防ぐために、

b の実質価値を大幅に c 改铸が行われた結果、物価上昇が引き起こされた。

1. a 銀安金高 b 銀貨 c 引き下げる
2. a 金安銀高 b 金貨 c 引き上げる
3. a 銀安金高 b 銀貨 c 引き上げる
4. a 金安銀高 b 金貨 c 引き下げる
5. a 銀安金高 b 金貨 c 引き下げる

問C 下線部ハに関連して、明治初期（1875年以前）に行われた制度改革について述べた文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 版籍奉還に伴い旧藩主は知藩事となり、藩も徴税権を失った。
2. 四民平等とされたが、華族と平民との通婚は禁じられていた。
3. 金禄公債証書を与えて士族に対する秩禄給付をすべて廃止した。
4. 内務省が新設され、殖産興業を推進するとともに、警察組織の統轄も行った。
5. 年貢負担者であった自作農、小作農に地券を交付し、土地所有権を認めた。

問D 下線部ニの1870年代後半に進展したインフレについて述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 国立銀行の急増に伴う不換銀行券の増発がインフレの一因となった。
2. 西南戦争の戦費調達を目的とした政府紙幣の増発がインフレにつながった。
3. インフレの中で地租に依存した政府財政の収支は次第に悪化した。
4. 農産物価格の上昇により農家の地租負担は実質的に軽減された。
5. インフレ下で輸出超過が続いたため、正貨の蓄積が進んだ。

問E 下線部ホに関連して述べた次の文章の d ～ f に該当する語句の組み合わせとして、正しいものを1つマークせよ。

銀本位制には為替相場の d により金本位国との間で e が期待される点などにメリットがあり、また金本位制には f が容易になるなどのメリットが想定された。

1. d 低落（円安） e 輸出伸張 f 中国などアジア諸国への資本輸出
2. d 上昇（円高） e 輸入増進 f 先進諸国からの資本輸入
3. d 低落（円安） e 輸入増進 f 先進諸国からの資本輸入
4. d 低落（円安） e 輸出伸張 f 先進諸国からの資本輸入
5. d 上昇（円高） e 輸入増進 f 中国などアジア諸国への資本輸出

II 大正・昭和初期にはマスメディアが発達し、都市住民などを中心的な担い手とする大衆文化が発展した。

新聞では発行部数100万部を超えるものが現れ、総合雑誌や週刊誌も急速に成長した。「日本一面白くて為になる」大衆娯楽雑誌を目指して発刊された『 へ 』の発行部数も100万部を超えた。

1925年には電波という新たなメディアを利用したラジオ放送が始まり、翌年には各地の放送局を統合して ト が設立された。また、映画は当初、無声（サイレント）で弁士が解説しながら上映されていたが、1930年代に入ると有声映画が現れ、 チ とも呼ばれた。

大衆文化が開花する中で、都市部を中心に庶民のライフスタイルにも大きな変化がみられた。東京などの大都市の中心部にはコンクリートのビルディングが立ち並び、洋装の男女が行き交うようになった。銀座では断髪にスカート、外国映画さながらのファッションを身にまとった リ が闊歩する姿もみられた。大都市には様々な商品を販売する百貨店も現れた。当初は旧呉服商の経営によるものが多かったが、阪神急行電鉄の梅田駅をさきがけとして、私鉄が主要な発着駅に近接して百貨店を営業する ヌ がさかんに建設され、沿線住民に衣料品、生鮮食品などの日用品を販売するようになった。

問F へ に該当する雑誌名を3字で記述解答用紙の解答欄に記せ。

問G ト に該当する語句を6字で記述解答用紙の解答欄に記せ。

問H チ に該当する語句を4字で記述解答用紙の解答欄に記せ。

問 I リ に該当する語句を 6 字で記述解答用紙の解答欄に記せ。

問 J ヌ に該当する語句を 9 字で記述解答用紙の解答欄に記せ。

6 次の文章を読んで、下記の設問（A～I）に答えよ。

第二次世界大戦によって、日本国民の生活は壊滅的な状況に陥った。空襲で家屋を失った者は、防空壕や焼け跡に建てたバラック小屋などを住みかと思えざるを得なかった。敗戦の時点で、軍人約310万人、一般居留民約320万人が国外にいたと推定されている。旧満州や中国の居留民の中には、a として残された子供たちも少なくなかった。また、ソ連に降伏した軍人や居留民の中には、シベリアの収容所に移送され、厳しい環境の中で数年間も強制労働に従事させられる者も多く、6万人以上の命が失われた。

復員兵や引き揚げ者が増加し、また軍需工場の閉鎖などにより失業者が急増した。食糧不足も深刻化し、米の配給が不足したため、さつまいもやとうもろこしなどの b にかえられた。配給の遅配や欠配も頻出し、都市の人々は、農村への食料買い出しや闇市の利用、自給生産などで堪え忍んだ。多くの物資が不足する中、悪性のインフレーションが起こった。このため、1946年2月、幣原喜重郎内閣は預金を封鎖し、また旧円の流通禁止と新円の引き出し制限をかける金融緊急措置令を発令したが、効果は一時的だった。第一次吉田茂内閣は、経済安定本部を設置し、1947年には石炭・鉄鋼などの重要産業部門に資金を集中する傾斜生産方式を採用し、c 金庫を創設して基幹産業を支援した。

国民生活の危機によって、大衆運動が活発化した。終戦直後は、労働者が自主的に企業の業務を組織・運営する d 闘争が活発になり、さらに全官公庁共同闘争委員会に集結した官公労働者が中心となって、吉田茂内閣の打倒を目指し、1947年2月1日には、基幹産業を巻き込むゼネラル・ストライキが計画されるが、前日になってGHQの指令で中止させられた。

問 A 空欄 a に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字 4 字で記せ。

問 B 空欄 b に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字 3 字で記せ。

問 C 空欄 c に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字 4 字で記せ。

問 D 空欄 d に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字 4 字で記せ。

問 E 下線部イに関して、海外引き揚げ者数が多かった国・地域の順序（左から多い順）として、正しいものを 1 つマークせよ。

1. 中国－旧満州－朝鮮－ソ連－台湾
2. 中国－朝鮮－旧満州－ソ連－台湾
3. 旧満州－中国－朝鮮－ソ連－台湾
4. 中国－旧満州－朝鮮－台湾－ソ連
5. 旧満州－中国－朝鮮－台湾－ソ連

問 F 下線部ロについて、この時のインフレーションが起こった主要因 2 つを、記述解答用紙の解答欄に 30 字以内で記せ。なお、句読点も 1 字として数えよ。

問G 下線部ハに関して、幣原喜重郎内閣の時に起こった事柄ではないものを1つマークせよ。

1. 憲法改正要綱を提出したが、GHQが拒否。
2. 新選挙法による初の選挙で女性の参政権が認められる。
3. 戦争協力者・職業軍人などの公職からの追放開始。
4. 第一次農地改革の実施。
5. 労働関係調整法の制定。

問H 下線部ニに関して、この頃（1945～1947年）に結成された政党と党首（もしくはそれに準ずる者）の組み合わせとして、誤っているものを1つマークせよ。

1. 日本進歩党－中島知久平
2. 日本共産党－徳田球一
3. 日本社会党－片山哲
4. 日本自由党－鳩山一郎
5. 国民協同党－三木武夫

問I 下線部ホに関して、この頃（1946～1948年）の大衆運動・労働運動について述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 1946年5月1日にメーデーが復活した。
2. 1947年の年頭、吉田首相は、労働者の賃上げ要求について「不逞の輩」と呼んだ。
3. 1948年に、片山内閣の下、国家公務員のストライキを禁止する政令201号が公布された。
4. 1946年5月19日に食糧メーデー（飯米獲得人民大会）が開催された。
5. 1948年の東宝争議とは、東宝映画砧撮影所で起こった解雇反対闘争のことである。

〔以 下 余 白〕

